



ひしのみ

山形市立明治小学校
学校だより
R4.2.9発行
第16号
校長 横山 聡

3～6年生 スキー教室 冬の蔵王を満喫！

感染防止の徹底に努めながら、3年～6年生のスキー教室を蔵王スキー場で行いました。天候に恵まれて、青空の下、冬の蔵王の景色を眺めながらスキーを楽しむことができました。

本部となるアストリアホテルは本校のみの利用で、ゲレンデも人はまばらでリフト待ちすることなく、「0密」状態でした。子ども達、一人一人の感染予防の意識も徹底していて、一時間以上のバスの中で一言も私語をせず、昼食のカレーを食べるとき以外は、マスク着用を心がけていました。

午後には、滑りが格段にレベルアップ。インストラクターの先生方の丁寧な指導のおかげで、「曲がるときには曲がる方向の反対の手を下げる」「曲がるときに、少し外側の足をかえす」「八の字ですべり、曲がり方は、曲がる逆の足に力をいれてみる」「足首やひざを曲げる」「曲がるときは、小さな八の字」「かかとだけでなく足の裏全体に力を入れて滑る」(インストラクターの先生へのお礼の手紙より)など、自分なりのコツをつかんだようです。



感染対策のため、向かい合うことなく、黙食を守りました

子ども達に「今日のスキー教室で、上達したと思える人、手を挙げてみて」と聞くと、全員が手を挙げました。

保護者の皆様には様々な準備とご協力をいただきました。ありがとうございました。



青空のもと、気持ちよく滑ることができました

代表委員会もオンラインで！

1月28日(金)に、代表委員会をオンラインで開催しました。通常であれば、6年生教室や音楽室に集まって協議をするところですが、「学年をまたいでの交流はなるべく控える」ということで、3年・4年・5年・6年のそれぞれの教室からオンラインで協議をしました。

生活委員会が設定した目標「苦手な食べ物にもチャレンジして、残り物を減らそう」についての各学年の取り組みが中心議題でした。

オンライン代表委員会は初めての試みだったので、なんとか話し合いはできたものの、6年生からは「やっぱり集まった方がずっと楽だった…」という本音も聞かれました。まだまだ第6波収束は見えていない状況ですので、これからも校内であってもオンラインで活動しなければならないと予想しています。

感染予防に限らず、ICTを活用することでどのような教育効果があるのかまだまだ職員も学ばなければならないと改めて感じています。



子ども達の活躍 おめでとうございます！



《山形市小中学校書き初め展》

金賞 4年 秋葉未都 さん 6年 室岡空寧 さん
入選 1年 小関彩花 さん 2年 野口結生 さん 3年 遠藤愛理 さん
5年 小関莉愛 さん 5年 樋口侑咲 さん 6年 笹原鈴寿 さん



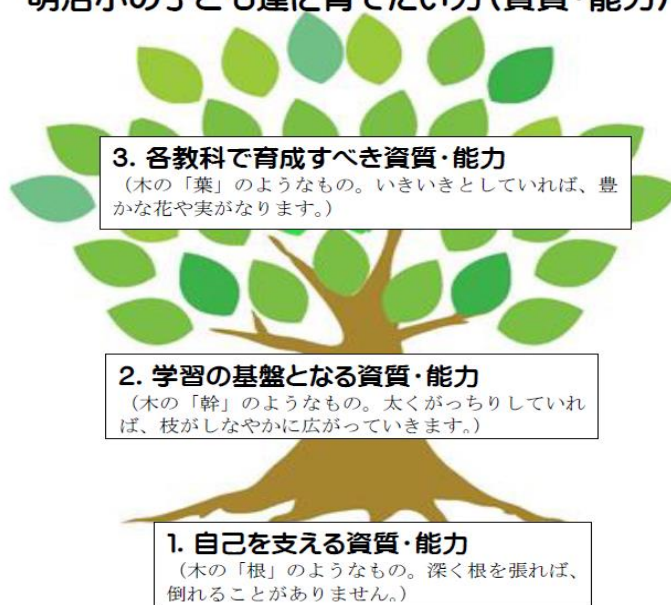
学校・家庭・地域で連携しながら②

学校だより15号で「明治小学校で子ども達に育成したい力（資質・能力）」の根の部分である「1. 自己を支える資質・能力」の重要性について説明しました。

今回は、「1. 自己を支える資質・能力」の一番目に挙げている「感性・感動・欲求の主体化」について説明します。

自分の好きなこと（感性・感動）や、やりたいこと（欲求）をはっきりもっていて、それを目指すとき、人は自由と喜びを感じます。そのときには、多少の困難があっても乗り越えていこうとします。「やりたいこと」は、小さいときだったら、「こんな遊びをしたい」「こんなおいしいものを食べたい」ということになります。子どもは興味があれば、行動します。自発性そのものです。ですから遊びはとっても大切な要素です。人の成長発達の原点は、興味を持つか持たないか、遊びを存分にするかしないかから始まります。自然に生まれた遊びが、身体を通して知性と感性を刺激し面白味となり、更に知的興味となり、「探究」につながります。

明治小の子ども達に育てたい力（資質・能力）



- (1) 感性・感動・欲求の主体化
- (2) 共生への志向
(人間関係形成能力・社会形成力)
- (3) 基本的自尊感情・社会的自尊感情

また、成長につれて「遊び」に対しても、「価値があるものか」という問いが立ち上がってきます。「自分のやることは、みんなにとってよいことなのか、みんなが喜んでくれるものか」という自分自身への問いです。これは、職業の場合にも同じようなところがあります。漫画家であれば、「漫画を描くことが好きで、漫画家になったけど、はたしてこれは社会にとってどんな価値があるのだろう」と問うことでしょう。「自分のやりたいこと」と「みんなにとってよいこと」を問い続けることが「自分の生き方の軸をもつこと」になります。

この力を育成するために、『遊び』と『学び』をつなぐことを重視しています。特に低学年の生活・音楽・図工・体育には「遊び」の領域が深く関わっています。高学年であれば、さらに総合的な学習や児童会活動などがまさに「自分の生き方の軸」の育成につながるものとしてとらえています。